

登録コード	E7161400	開講年度	2026					
授業科目	卒業研究					担当教員	林 寛平	
英文授業名	Graduation Study					副担当		
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観							
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能							
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	特に比較教育学の分野における学術論文の基本的構造と手法を概観し、各自が教育に関するテーマを設定し作成をすすめることを促すとともに、他者との関わりのなかで自律的かつ協働的に研究を展開することにも注意を向ける。							
(5)授業計画	第1回:授業の目的と予定、受講上の注意、成績評価の方針。 第2回:学術論文の基本的構造 第3回:学術論文の手法 第4回:テーマ設定(1):関心の所在 第5回:テーマ設定(2):教育との関連 第6回:研究調査の手法(1):文献の収集と整理 第7回:研究調査の手法(2):分析と考察 第8回:学術論文の作成(1):全体の構想 第9回:学術論文の作成(2):引用と見解 第10回:学術論文の作成(3):文脈と独自性 第11回:事例検討(1):口頭発表の手法 第12回:事例検討(2):外在的批判と内在的批判 第13回:学術論文の推敲:批判的乗り越え 第14回:研究と実践:未来に向けて 卒業論文の提出 受講者の関心や授業の展開等により順序や内容に変更が生じることがある。							
(6)成績評価の方法	・卒業論文の質と取り組む姿勢を総合的に評価する。・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	・卓越している...自ら設定したテーマの課題の解決に向けて計画を立案し、主体的に探究活動に取り組んで、考察を深めている。 ・かなり上である...自ら設定したテーマの課題の解決に向けて取り組み、探究活動に取り組んで考察している。 ・やや上にある...自ら設定したテーマの課題の解決に向けて探究活動に取り組んでいる。 ・水準にある...研究テーマに応じた調査方法を工夫し、課題解決に向けて努力している。							
(8)事前事後学習の内容	進捗状況に応じて具体的な事前学習内容は変化するが、次時までにはクリアさせておくべき課題を毎回与えておくので、それを達成させることが事前学習でもあり、事後学習の内容にもなる。 この授業は5単位科目のため、自主学習時間を含めた総学習時間の目安は225時間となります。授業時間以外に、150時間程度の自主学習時間（予習・復習等）が必要です。							
(9)履修上の注意	研究室所属の学生は必修とする。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談等は事前にメールでアポイントメントをとっていただければ随時対応します。メールアドレス: kampei@shinshu-u.ac.jp 授業評価アンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。							
【教科書】	適宜、ゼミおよび個人指導のなかで紹介する。							
【参考文献】	適宜、ゼミおよび個人指導のなかで紹介する。							